

東京藝大「I LOVE YOU」プロジェクト 2026【公募 F】  
テーマ：「TOKYO WELL CITY（東京都心の未来を考える）」  
対象：在学生、卒業・修了生、在籍教員・研究者

## 東京藝大「I LOVE YOU」プロジェクト 2026 (芸術未来研究場 共同研究企画公募事業)

# 募集要項 F

※この募集枠は、2026年4月1日時点で本学に在籍する正規課程の学生または教員・研究者および本学の卒業・修了生を対象としています。その他の枠は下表をご参照ください。

### 「I LOVE YOU」プロジェクト 2026 募集枠一覧

	企画募集を行う領域・テーマ	申請資格・対象(※)
要項 A	[1]アート DX トヨクモ(株)との連携枠	在学生 2021年3月以降の卒業・修了生
要項 B	[2]ケア&コミュニケーション ART 共創拠点との連携枠	在学生 在籍教員/研究者
要項 C	[3]キュレーション (株)みずほフィナンシャルグループとの連携枠	卒業・修了生(40歳以下)
要項 D	[4]エンターテインメント×社会課題解決 (株)サイバーエージェントとの連携枠	在学生 2021年3月以降の卒業・修了生
要項 E	[5]紛争・分断の時代におけるアートの役割と可能性 ゴールドマン・サックス・ギブズとの連携枠	在学生 卒業・修了生
要項 F (本紙)	[6]TOKYO WELL CITY 三菱地所(株)との連携枠	在学生、卒業・修了生 在籍教員/研究者

※詳細はそれぞれの募集要項を必ず確認してください。

※申請資格を満たしていれば、領域・テーマごとに1人1件まで申請可能です。

**申請締切：2026年4月30日(木)17時**  
**本要項の助成総額(予定)：210万円**

※本助成は、三菱地所様からの受託事業として行われます。



芸術は人を愛する



人を、想う力。街を、想う力。



2026年3月19日 東京藝術大学 芸術未来研究場 TOKYO WELL CITY

東京藝大「I LOVE YOU」プロジェクト 2026【公募 F】  
テーマ：「TOKYO WELL CITY（東京都心の未来を考える）」  
対象：在学生、卒業・修了生、在籍教員・研究者

## 1 趣旨・目的

東京藝術大学は、「世界を変える創造の源泉」として、芸術が持つ無限の可能性を社会に向けて伝え、実践によって示すため、2019年度より企画公募事業『東京藝大「I LOVE YOU」プロジェクト』を展開しています。

また本学は、2023年4月に「芸術未来研究場」を創設しました。本研究場は、多様性を認め合える社会の実現に向け、「アートは人が生きる力である」という確信及び「人の心」への眼差しを根幹として、新たな価値の創造や社会的課題の解決に係る実験と実践を重ねることを通じ、人類と地球のあるべき姿を探究することを目的としています。

この度、「I LOVE YOU」プロジェクト 2026 を、「芸術未来研究場が主催する共同研究企画公募事業」として実施し、本公募枠では、三菱地所株式会社との連携により「TOKYO WELL CITY（東京都心の未来を考える）」をテーマに、大手町・丸の内・有楽町を舞台として、ビジネスパーソンの創造性や Well-being を高めるコンテンツを制作・発表する企画を広く募集します。

## 2 募集する共同研究企画の実施期間

・2026年6月1日～2027年3月31日

[スケジュール]

- |                        |   |
|------------------------|---|
| － 審査結果通知               | 5月下旬  |
| － 事務局打ち合わせ             | 6月  |
| － リサーチ／視察              | 6月～9月   |
| － 成果発表準備               | 9月～11月  |
| － Future Vision Summit | 12月上旬   |
| ※2025年度の様子             | <a href="https://note.com/the_way_of/n/n1c2f8cc42079">https://note.com/the_way_of/n/n1c2f8cc42079</a> |
| － 合同報告会                | 2027年1月～2月  |
| － 報告書まとめ・提出            | 2027年3月   |

## 3 申請資格・対象

①2026年4月1日時点で本学の正規課程に在学する学生が主催する企画

※研究生等の非正規生や、履修証明プログラムの受講生は対象外です。

※正規課程の学生であっても、休学者は対象外です。

②2026年4月1日時点における本学の卒業生・修了生が主催する企画

③2026年4月1日時点で本学に所属する教員・研究者が主催する企画

※対象となる職種は、本学の専任教員、特任教員・研究員(非常勤含む)、教育研究等非常勤職員(教育研究助手、学芸研究員、テクニカルインストラクター、学術インストラクター)、専門研究員、実技指導や研究指導を担当する非常勤講師です。

※教養科目、専門基礎科目、語学科目等を担当する非常勤講師は対象外です。

## 4 助成金額、助成対象経費、助成金の使用方法

助成金額 1件につき70万円以内

※内20万円程度は展示等アウトプットの経費としてください。

助成対象経費 消耗品費、印刷費、翻訳費、旅費、業務委託費、通信運搬費、広告宣伝費、使用料／借料(会場費や機材レンタル)、感染症対策費

東京藝大「I LOVE YOU」プロジェクト 2026【公募 F】

テーマ：「TOKYO WELL CITY（東京都心の未来を考える）」

対象：在学生、卒業・修了生、在籍教員・研究者

※研究環境整備用の備品（空調機器、机、椅子、棚など）は購入できません。

※飲食費・交際費（手土産代など）はいかなる場合も対象となりません。

※企画申請者（代表者）本人に対して業務委託費や謝礼は支払えません。

**※学生が主催する企画（上記①の枠組）の場合、換金性の高い物品（パソコン、タブレット、カメラ、録画・録音機器、テレビなど）及び取得価額が消費税込 10 万円以上の物品は購入できません。**

**助成金の使用方法** 学生、卒業・修了生、教員・研究者が主催する企画のいずれについても、大学の会計事務を通じて物品等の発注や支払い処理を行います。  
※上述の実施期間外に発生している経費には助成金を充当できません。

## 5 募集する共同研究企画の要件および分野・形態

※「大手町・丸の内・有楽町」の街の特性／街との親和性を踏まえた企画であること。

※「東京都心の未来を考える」というテーマに関して、先進的な取組を実施している海外機関や国内機関についての現地訪問によるリサーチを必ず行う企画であること。

※そのリサーチの成果として、都市の持続的成長に対してアートが果たする役割や機能、効果を探求する視点を持ちながら、東京都心で働くビジネスパーソンの創造性を喚起するような、あるいは、より心豊かな働き方を可能にする街のあり方を提示するような、何らかのアウトプットを、2026 年 12 月上旬（予定）に丸の内等で開催される **FUTURE VISION SUMMIT (FVS)** において発表する企画であること。

（発表場所：コンファレンススクエアエムプラス 1F「サクセス」等を予定）

※アウトプットの形態は、作品・演奏・上映・研究報告・ワークショップ等のいずれも可。

※アーティストによる取組だけでなく、中間人材（キュレーター、プロジェクトマネージャー、コーディネーター、エデュケーター、アートマネージャー、コミュニケーター、プロデューサー、インストラクター等）や研究者による企画も可。

※採択された企画の実施にあたっては、リサーチから成果の発表まで、芸術未来研究場 TOKYO WELL CITY プロジェクトを主導する教員・研究者研究支援者が伴走支援を行います（国内外の機関を現地リサーチする際のコーディネートやアポイントメント取得の支援を含む）。

### 「東京都心の未来を考える」に係る具体的なテーマ／キーワードの一例

- ・ 10 年後のまちの過ごし方／あり方
- ・ AI と都市生活
- ・ 街を使い倒す
- ・ 都市の再野生化
- ・ 都市と音
- ・ ビジネス街における新しいアートカルチャー

### 「東京都心の未来を考える」に係るリサーチ対象候補となる海外機関や国内機関の一例

○都市の文化的ランドマーク

■M+；エムプラス（香港）

■バンコク・アート・アンド・カルチャー・センター（タイ・バンコク）

■Factory International（イギリス・マンチェスター）

■C-LAB、台湾当代文化実験場（台湾）

東京藝大「I LOVE YOU」プロジェクト 2026【公募 F】  
テーマ：「TOKYO WELL CITY（東京都心の未来を考える）」  
対象：在学生、卒業・修了生、在籍教員・研究者

○都市のクリエイティブハブ

- NEW INC/NEW MUSEUM（アメリカ・ニューヨーク）
- 100BANCH（東京都）
- シビック・クリエイティブ・ベース東京 [CCBT]（東京都）
- EYEBEAM（アメリカ・ニューヨーク）
- パレ・ド・トーキョー（フランス・パリ）

○若手アーティスト支援と都市文化の実験場

- YAU（東京都）
- ZK/U Berlin - Center for Art and Urbanistics（ドイツ・ベルリン）

○ローカルとグローバルの接続/アート&テクノロジーの交差点

- アルス・エレクトロニカ（オーストリア・リンツ）
- YCAM:山口情報芸術センター（山口県・山口市）
- ZKM（ドイツ・カールスルーエ）
- Watershed（イギリス・ブリストル）

○トランスローカルネットワーク

- ルアンルパ（インドネシア・ジャカルタ）
- サイエンスギャラリーネットワーク（アイルランド・ダブリン他）

○社会的包摂とアート実践

- 可児市文化創造センター（岐阜）
- Good Job! Center KASHIBA（奈良）

○市民の創造性のエンパワーメント

- 秋田市文化創造館（秋田）
  - 八戸市美術館（青森）
  - メディアラボ・プラド（スペイン・マドリード）
- ※市民参加型クリエイティブラボ、オープンイノベーションを促進。

○都市再生とアート主導の地域変革

- Superkilen（デンマーク・コペンハーゲン）
- ※移民や多様な文化背景を持つ人々が多く住む地区の公共空間を再設計した公園。地域住民と共に世界各国から文化的な要素を集め、社会的な統合を目指した空間デザインを実施。

○教育

- Exploratorium（アメリカ・サンフランシスコ）
- ※科学・芸術・人間の知覚をテーマにした体験型学習を提供する博物館。「Tinkering Studio」では来館者が実際に材料や道具を使って実験し、試行錯誤しながら学ぶ STEAM 教育の環境を提供。

東京藝大「I LOVE YOU」プロジェクト 2026【公募 F】  
テーマ：「TOKYO WELL CITY（東京都心の未来を考える）」  
対象：在学生、卒業・修了生、在籍教員・研究者

## FUTURE VISION SUMMIT(FVS)について <https://www.fvs2025.com/>

日本有数のビジネス街である大手町・丸の内・有楽町（大丸有）において、社会や経済の未来をアートによるビジョンメイキングを交えて考える都市型のカンファレンスイベント。

様々なセクターのリーダーたちのビジョンが示される「カンファレンス」と、アートを媒介とした多彩な実践・実験的な取り組みを展示・ワークショップで紹介する「ショーケース」が、数日間にわたって開催される。

FVS は、アーティスト、科学者、ビジネスマン、行政担当者等が集い、アートを軸に未来社会を考える、ビジネス、サイエンス、エンジニアリングの交差点となる。そして、気候変動や資本主義経済の行き詰まり、紛争に格差などの課題に対応するため、新たな視点を持ち、正しい問いをつくり、豊かに想像し、他者と対話を重ね、強度のあるビジョンを描いて行動し、トライ&エラーしながら小さな変化を起こしつつづけることの重要性を投げかける。

## 6 申請締切

・2026年4月30日(木) 17:00【時間厳守】

・申請書類データの提出先：[i-love-you@ml.geidai.ac.jp](mailto:i-love-you@ml.geidai.ac.jp)（各種問い合わせも受け付けます）

※申請は1人につき1件迄です(ひとつの企画について複数人が別々に申請するのも不可)。

※締切時刻までに必要書類一式が事務局で受信できている場合のみを審査対象とします。

## 7 申請に必要な書類

[1]企画書 兼 予算計画書(所定様式：Microsoft® Office Excel および PDF 化したデータ)

[2]コンセプトペーパー(A4 縦1枚、PDF データ。企画概要を分かりやすくまとめたもの。

作成方法は手書きを含め自由ですが、提出の際は PDF 化してください)

※[1]の EXCEL データおよび PDF データ、[2]の PDF データの3種類の提出が必要

です。  
※コンセプトペーパーには「企画のタイトル」を必ず記入してください。

※様式の変更やページ数の増減をしないでください。

## 8 審査・選考

・審査および選考は、以下①～④の観点により、東京藝術大学芸術未来研究場の TOKYO WELL CITY プロジェクト担当教員および三菱地所の社員が行います。

①本公募事業の趣旨・目的に合致しており、社会にインパクトを与えることが期待される。

②内容や着眼点に独創性があり、各芸術分野の特性を踏まえた高度な研究や実践が期待される。

③本公募枠が求める企画内容に合致している。

④予算の積算が妥当であり、実施に必要な条件が準備できていると見込まれる。

・審査結果として、採択企画および助成額の一覧を大学 Web サイト等で公表します。

※審査結果は2026年5月下旬頃に公開・通知予定です。

※申請額よりも助成額を減額して採択する場合があります。

## 9 応募にあたっての注意事項

・学生が申請する場合、企画実施の「監督者・管理者」として、指導教員の許可を必ず得てください(特に、本企画の実施に係る研究支援者が配置されることについて)。

・2026年の11月下旬頃に、本学の大学美術館において、「芸術未来研究場」全体を社会に発信する展覧会を開催する予定であり、本公募に係る企画書様式の中に、この展覧会への出展(パネル展示等による中間成果の発表や企画概要の紹介)を希望するかどうかを選択する欄を設けていますので、参加を望む場合はその旨を記載してください(展示等の場所

東京藝大「I LOVE YOU」プロジェクト 2026【公募 F】

テーマ：「TOKYO WELL CITY（東京都心の未来を考える）」

対象：在学生、卒業・修了生、在籍教員・研究者

や機会の確保を約束するわけではありませんので、ご注意ください。なお、本展覧会に参加いただくこととなった場合、出展に係る経費は本助成金とは別途大学側で負担します。

- ・ 上記の展覧会（芸術未来研究場展）への参加はあくまで企画概要の紹介等が趣旨であり、本公募に係る最終的なアウトプット／作品展示については、FUTURE VISION SUMMITにおける発信がメインとなります。
- ・ 企画の代表者等には、本プロジェクト主催のイベント等への参加を依頼する場合があります。
- ・ 企画書等の内容は本プロジェクトの広報活動に使用させていただく場合があります。
- ・ 採択者には研究費の管理等に関する誓約書を提出していただきます。

- 以上 -

東京藝大「I LOVE YOU」プロジェクト2026 (芸術未来研究場 共同研究企画公募事業)

**[公募F] 企画書 兼 予算計画書** (EXCELとPDFの両データを提出してください)

※この様式のほかに、コンセプトペーパー (A4縦1枚・片面、様式任意、PDF) の提出が必要です。

企画のタイトル ※コンセプトペーパーにも必ず記載してください	<p style="color: red; text-align: center;"><b>※企画のタイトルを記入してください</b></p>	
企画の実施日/期間	西暦 年 月 日 ~ 西暦 年 月 日	
申請するテーマ	TOKYO WELL CITY (東京都心の未来を考える)	○
企画の概要 (主旨・目的・内容等)  800字程度	本企画の概要について、本公募の趣旨および、「募集要項F」の「5 募集する共同研究企画の要件」に記載している、「TOKYO WELL CITY (東京都心の未来を考える)」が求める企画の観点を踏まえて記入してください。 <p style="color: red;">※本企画の主旨・目的・内容等を800字程度で記入してください。</p>	
FUTURE VISION SUMMIT における アウトプット方法  300字程度	本企画のアウトプットとして、2026年12月上旬に予定されているFUTURE VISION SUMMITにおいて、どのような成果発表を行う想定か記入してください。 <p style="color: red;">※想定しているアウトプットの形式・方法について300字程度で記入してください。</p>	

以下、2ページ目（この行がページの先頭になるようにしてください）

<p>研究計画・実施方法 （「東京都心の未来を考える」に関する国内外機関へのリサーチ日程・場所等を含む）</p>	<p>※本企画について、「東京都心の未来を考える」というテーマに関する国内外機関へのリサーチや、アウトプットに向けた準備期間も含めたスケジュール・実施場所・実施方法等を記入してください。</p>	
--	---	--

<p>2026年11月下旬に予定されている大学美術館での「芸術未来研究場」展への参加希望 ※いずれか1つに「○」を記入してください。</p>	希望する	
	希望しない	
	どちらとも言えない	
<p>※「希望する」または「どちらとも言えない」に「○」を入力した場合、どのような形で参加したいか等の具体的な内容や、こういう条件等であれば参加したいといった希望を本欄に記入してください。</p>		

<p>研究支援者に求めるメンタリング内容やサポート内容</p>	<p>※上記の研究計画において、本企画が採択された場合に配置される研究支援者にどのようなサポート等を希望するかを記入してください。</p>	
---------------------------------	---	--

<p>申請代表者</p>	氏名	所属	学年／役職
	●● ●●	●●学部●●専攻	学部●年／●●
	主な学修歴（資格・留学等）・活動実績（展示・公演・研究・受賞等）		
<p>※本企画の準備・実施にあたって参考となる（本企画に活かすことができる）これまでの学修歴や経験、過去の活動実績等について記入してください。</p>			

<p>【学生が申請者の場合は記入必須】 監督教員 （専任教員による監督が必須です。非常勤講師や教育研究助手は監督教員にはなれません）</p>	氏名	所属	役職
	●● ●●	●●学部●●学科	●●●●
	<p>※上欄の記入は、本企画における申請学生および協力者による企画の準備・実施・報告等が、上記教員による監督のもとで行われることを約束するものです（申請書提出前に、必ず上記教員による申請内容のチェックと、申請許可を得てください）。申請書受領後、事務局において、上記教員に事実確認を行う場合があります。</p>		

<p>実施協力者 （主要な協力者のみ記入し、その他の参画者については総括して記入してください）</p>	氏名	所属・学年／役職	本企画における役割
	●● ●●	●●学部●●学科・学部●年	●●●●
	●● ●●	●●大学●●学部・学部●年	●●●●
	●●●●地域の方々	●●名程度	現地協力者
	●●●●団体の方々	●●名程度	インタビュー対象者

以下、3ページ目（この行がページの先頭になるようにしてください）

企画全体の予算計画

※飲食費・交際費はいかなる場合も計上できません。

※企画申請者(代表者)本人に対する委託費・謝金等の支出は不可です。

区分	摘要	数量	単価(円)	金額(円)
消耗品	(記入例)			
	〇〇材料費	0	0	0
	〇〇展示用品	0	0	0
	関連書籍購入費	0	0	0
		0	0	0
謝金	〇〇撮影・録音謝金	0	0	0
	〇〇のデザイン作成謝金	0	0	0
	〇〇の動画編集謝金	0	0	0
	リサーチ受入機関へのコーディネート謝金	0	0	0
		0	0	0
旅費	調査のための交通費(〇〇~〇〇往復)	0	0	0
	調査のための宿泊費(〇〇市内)	0	0	0
		0	0	0
		0	0	0
		0	0	0
印刷製本費	〇〇〇印刷費	0	0	0
		0	0	0
借料損料	〇〇ホール借料	0	0	0
	〇〇用ソフトウェアライセンス費	0	0	0
その他	〇〇学会参加費	0	0	0
	〇〇翻訳外注費	0	0	0
	〇〇運搬費	0	0	0
		0	0	0
		0	0	0
		0	0	0
		0	0	0
		0	0	0
		0	0	0
		0	0	0
計				0
本公募における助成金申請額(※必要経費額を超える申請は不可です) (70万円以内 ※FVSIにおけるアウトプットの経費を20万円程度見込むこと)				0
共催・協賛・後援等 外部団体等の助成金 への申請状況等	※外部団体等と連携した企画や、他団体から助成金等を受ける予定がある場合は、その状況について記入してください。			

以下、4ページ目（この行がページの先頭になるようにしてください）

申請代表者の連絡先	メールアドレス	
	電話番号	
事務担当者の連絡先 (助手の方など)	メールアドレス	
	電話番号	
監督教員の連絡先 ※申請者が在学生の場 合、記入必須	メールアドレス	
	電話番号	
芸術未来研究場が行う キャリア支援プログラ ムへの登録参加希望 ※いずれか1つに「○」を記 入してください。	<p>芸術未来研究場では、企業・自治体・他大学等との連携による様々なプロジェクトを全国各地において実施しており、そうした現場に業務として参画・協力可能な人材（各地域を拠点に活動する本学の卒業・修了生等）の名簿化を進めています。今後、そのようなプロジェクトにおいて業務委託等の形態で仕事を行うことを希望するかどうか、選択してください。</p>	
	希望する	
	希望しない	
	<p>※「希望する」に「○」を入力した場合、どのような地域・内容だご自身の能力が活かせるか、どういう条件等であれば参加したいか、といった具体的な希望や内容を本欄に記入してください。</p>	